

G&T SHINE・COAT マニュアル

SHINE・COATの施工手順 ～応用編～

* 炎天下での洗車はシミになる恐れがある為お控えください。

① 砂ぼこりを落とすために水洗い

砂による擦り傷を入れない為に水でよく流します。古いWAXやコート剤を落とす場合はコーティングWASHやGTスケイルクリーナーで施工前に除去して下さい。



コーティング効果重視

② グローブに直接スプレー

たっぷり水を含ませた洗車グローブやスponジに直接スプレーし、良く揉んで馴染ませます。



1パネルに3~5噴霧が目安です。



作業性重視

② 蓄圧スプレーで噴霧

5倍~40倍に希釈したSHINE・COATを蓄圧スプレー やフォームガンに入れ、濡れたボディーに吹き付ける。



乗用車1台分約500ccが目安です。

泡立ち重視

② バケツで泡立て

バケツにSHINE・COAT原液を入れ5倍~40倍に希釈しよく泡立てて、バケツの中で攪拌します。



乗用車1台分約2~3Lが目安です。※写真は20倍希釈です。

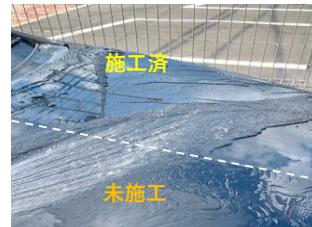
希釈倍率の目安は、コーティング効果重視の施工は5~20倍希釈
通常の撥水シャンプーとしての施工は20~40倍希釈でご使用下さい。



③ パネル毎に洗浄コート & すすぎ洗い

洗車グローブやスponジで、対象パネルにコート剤を刷り込むように丁寧に洗車します。
濡れたボディーが乾かない様にパネルやグローブに水を足しながら作業します。汚れやコーティング成分がムラにならない
ようにパネル毎に良くすすぎ洗いをし、次のパネルに進んで下さい。

* 鉄粉やザラ付きがある場合は粘土グローブ等で除去して下さい。ザラ付きが残っていると本来の性能が発揮できません。



④ 仕上げ拭き

洗車が完了したら、もう一度、車両全体を良く洗い流し、水滴やムラが残らないように拭き上げます。

推奨クロス

ENJOマイクロスター・マイクロクロスロングヘア・リバーシブルクロス・人工セームクロス
尚、上記推奨クロスはSHINE・COAT洗車にも使用出来ます。

ワンポイント・アドバイス

- 泡を控えめに作業を行いたい方はグローブに直接スプレー又は蓄圧スプレーで対象に噴霧して下さい。
泡立ち感を求める方はバケツを使用して下さい。
- GT洗車グローブは虫や汚れ除去性能に優れ、泡立ちを抑える効果があります。
- SHINE・COATを繰り返し施工すると、より光沢を上げることが出来ます。
- 作業中に乾いたまま放置すると、浮かび上がった汚れやコート剤がムラになり固まる事がありますので
作業面は素早くすすぎ洗いをして下さい。
- 直射日光下や対象が熱いときに洗車をするとムラやシミの原因になりますのでお控え下さい。

※固まった汚れやコート剤は再度洗車を行うか、コーティングWASHやGTスケイルクリーナーで除去出来ます。